

事業の重点施策を共有

日測協沖縄支部が報告会

(公社)日本測量協会沖縄支部(松川竹丸支部長)は7月17日、那覇市の県青年会館で



25年度の事業計画などを報告した

業務報告会を開き、2025年度の事業計画などを報告した。

松川支部長は「測量業界の継続的な発展と人材育成のため、講習会や検定事業を軸とした取り組みを進めていく」とあいさつ。協会本部の住田英一専務理事は、検定を受ける測量機器の台数が増加傾向にあることを紹介し、「安定した運営状況にある」と述べ、引き続き、技術者の育成や公益的役割の強化に取り組む方針を示した。

今年度の支部事業では、正会員および特別会員の加入促進に加え、測量継続教育センターや関係団体との連携による講習会の充実を図る。また、技術向上を目的としたアドバンスセミナーの無料開催や、測量機器の検定事業推進を通じて、支部活動のさらなる強化を目指す。

報告会後の講演会では、住田専務理事が「地理空間情報技術の新たな動向」をテーマに登壇。GNSSやUAVを活用した最新の測量手法、今後の展望を解説した。

その後は懇親会も開かれ、参加者同士が情報交換や親睦を深めた。